

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		数学		グループ名	2グループ
ねらい		・日常生活に必要な数量を理解する。具体物や電卓を使って簡単な計算ができる。 ・日常生活に必要な金銭や時計等の理解を深め、生活に役立てるようになる。 ・個別課題に意欲的に取り組み、一人一人の基礎的な力を高める。			
担当教員		○松永 和也 村田 昭子			
予定授業時数		70			
使用教科書		改訂新版 くらしに役立つ数学			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	時間と時刻		・「今日」「明日」の学習 ・現在の時刻	・暦の読み取りができる。 ・授業の開始時刻等が分かり、生活の中で活用できるようになる。	・授業の始めに毎時間行い、定着を図る。 ・視覚的に分かりやすいように模擬時計、タイムタイマーを用いる。
	整数の加法		・具体物と、その単位 ・1桁繰り上がりのない加法の計算	・正確に具体物を数えられるようになるとともに、その物によって単位が違うことを知る。 ・具体物や電卓を用いて計算の仕方を身に付けることができる。	・興味をもてるように身近な具体物を用いる。 ・必要に応じて、電卓を活用しながら、繰り返し行い、学習の定着を図る。
7 9	順番、位置		・平面での上下や左右 ・空間での左右や前後	・上下、左右、〇〇から何番目等を理解できる。 ・空間の中で、左右や前後、を理解できる。	・操作しやすい具体物を用いる。 ・整列順や座席表等、生活に役立つ場面を設定する。
10 12	数と計算	○	【金銭を使って計算する】 ・金銭を使った計算 ・支払い、お釣りの受け取り	・金種を組み合わせ、指定された金額を作ることができる。 ・ちよどの金額の支払いができる。 ・模擬通貨を利用して、買い物学習を行い、実際に金銭のやり取りを行う。	・生活に結び付くように模擬通貨を用いる。 ・計算アプリを使用し、お釣りの確認をし、実践的に学習する。 ・ロールプレイ形式で行う。
1 3	重さと量		・具体物を使用した重さの比較 ・目分量での均等分け	・日常的に目にする物の重さを測定し、比較できる。 ・半分や3等分以上に分けることができる。	・身近な物を測定することで、重さを感じられるようにする。 ・身近な具体物を用いて均等に分けられるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	1年	
教科等名	数学		グループ名	3グループ	
ねらい	・筆算の計算方法を覚え、計算ができるようになる。 ・量の差を比較したり、正しい計算式を選んだりして、正しい答えを導き出すことができる。 ・日常生活に必要な金銭や時計等の理解を深め、生活に活かす。				
担当教員	○甲斐 琢也 伊達 有子(月曜) 岸 みどり(木曜)				
予定授業時数	70				
使用教科書	くらしに役立つ数学 東洋館出版				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・暦と計算	○	・今日、明日、今週、来週、今月など ・簡単な繰り上がりや繰り下がりのある加減法の計算	・暦の読み取りができる。 ・繰り上がりや繰り下がりの法則が分かる。	・授業の始めに毎時間行い、定着を図る。 ・必要に応じて、電卓を活用する。 ・繰り返し行い、学習の定着を図る。 ・計算アプリを使う。
	・時間と時刻 ・順番、位置 ・大きな数		○	・アナログ時計の正時、10分単位の時間 ・○分後、○分前 ・平面での上下や左右 ・3桁以上の数の計算や比較	・アナログ時計を見て、正確な時間が分かる。 ・5分後の時刻や10分後の時刻を計算することができる。 ・上下、左右、右から何番目等を理解できる。 ・大きな数を正確に読んだり、順番に並べることができる。 ・筆算や電卓を使って計算することができる。
4 7					
9 12	・長さ	○	・計測の仕方 ・二つ以上の物の長さ比べ	・長さを正確に測ることができる。 ・単位の換算ができる。 ・測った数値を比べて、長い順短い順に並べられる。	・身近な物の長さを予想し実際に計測することで、長さの感覚を理解できるようにする。
	・データの活用 ・数量		・棒グラフや円グラフ ・データの収集、グラフ作成 ・硬貨や紙幣の計算	・グラフを見て、数量を読み取ったり量の多寡を比較したりすることができる。 ・集めたデータをグラフで表すことができる。 ・買い物の場面で硬貨を数えたり式を立てておつりを計算する活動を通して、数量の感覚を養う。	・インタビュー等で生徒が自らデータを集める活動を行い、意欲をもって学習できるようにする。 ・生活に結び付くように買い物アプリや模擬通貨を用いる。
	・重さと量	○	・量や重さの比較 ・様々なものの計量	・重さや量を比較できる。 ・日常的な道具を用いて、正しい測定ができる。	・身近な具体物を用いて重い軽いを感じられるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	1年	
教科等名	数学		グループ名	4グループ	
ねらい	・四則演算の仕方を知り、計算ができるようになる。 ・時計や電卓を用いたり、量や長さを比較したりすることで、正しい答えを導き出すことができる。 ・数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
担当教員	○上江渕 充 廣野 あやめ				
予定授業時数	70				
使用教科書	改訂新版 くらしに役立つ数学				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・基礎的な計算練習		・簡単な加減計算	・繰り上がりや繰り下がりの法則が分かる。	・必要に応じて、電卓を活用する。 ・繰り返し行い、学習の定着を図る。
4 7	時間と時刻 順番、位置 大きな数	○	・アナログ時計 ・○分後、○分前 ・上下や左右の位置 ・3桁以上の数の計算や比較	・アナログ時計を見て、正確な時刻が分かる。 ・5分後の時刻や10分後の時刻を計算することができる。 ・上下、左右、右から何番目などを理解できる。 ・大きな数を正確に読んだり、順番に並べることができる。 ・筆算や電卓を使って計算することができる。	・視覚的に分かりやすいように時計アプリや模擬時計を用いる。 ・クイズ形式で学習し意欲を高める。 ・位ごとに色を付け、視覚的に理解できるようにする。
9 12	長さ データの活用		・長さの測定 ・二つ以上の物の長さを比べて順に並べる。 ・グラフの種類 ・グラフを作成	・長さを正確に測ることができる。 ・単位の換算ができる。 ・測った数値を比べて、長い順短い順に並べられる。 ・グラフを見て、数量を読み取ったり量の多寡を比較したりすることができる。 ・集めたデータをグラフで表すことができる。	・身近な物の長さを予想し実際に計測することで、長さの感覚を理解できるようにする。 ・インタビューなどで生徒が自らデータを集める活動を行い、意欲をもって学習できるようにする。
1 3	数量 重さと量 分数	○	・量や重さの比較 ・重さの測定 ・分数の表記と計算	・重さや量を比較できる。 ・日常的な道具を用いて、正しい測定ができる。 ・具体物を半分や3等分以上に分けたり、分数で表記したりすることができる。 ・分数の計算ができる。	・身近な具体物を用いて重い軽いを感じられるようにする。 ・テープ図などを用い、視覚的に理解できるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。